

# 会 議 録

会議の名称	白岡市児童福祉審議会（第2回）
開催日	令和4年11月12日（土）
開催時間	午前10時00分～11時30分
開催場所	保健福祉総合センター 会議室3・4・5
会長の氏名	佐々木由規子
出席者（出席委員）の氏名・出席者数	佐々木由規子・西川達男・青木春乃・尾崎喜代子・安藤瑞穂 白子幸江・鈴木きよ子・齋藤千枝子・渡辺祐美・直井明子 諸岡瑞穂・寺井堅一・堀川祐規 <span style="float: right;">13名</span>
欠席者（欠席委員）の氏名・欠席者数	興文明・杉本朋子・高柳和子 <span style="float: right;">3名</span>
説明員の職・氏名	子育て支援課課長補佐 小林 聡一
事務局職員の職・氏名	健康福祉部長 嶋崎 徹 子育て支援課長 大久保 栄 課長補佐 小林 聡一 主幹 鈴木 順子 主任 今泉 夕香理 主任 田中 秀幸
その他会議出席者の職・氏名	埼玉県福祉部地域包括ケア課 地域包括ケア担当 講師 吉野 若葉
会議次第	1 開 会 2 挨拶 3 研修会 埼玉県ヤングケアラーの現状と支援について 4 議 題 白岡市ヤングケアラー実態調査中間報告について 5 その他 6 閉 会

配 付 資 料	資料 1 白岡市児童福祉審議会（第 2 回）会議次第 資料 2 白岡市児童福祉審議会委員名簿 資料 3 ケアラー支援のために～ケアラー支援計画と支援施策～ 資料 4 ヤングケアラー実態調査中間報告
議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
子育て支援課長  会 長 子育て支援課長 講 師  子育て支援課長 委 員  講 師 子育て支援課長  委 員  講 師 子育て支援課長  議 長  子育て支援課長補佐  議 長 委 員	開会を宣言 [傍聴人無し] 挨拶 研修の講師紹介をする。 資料 3 の「埼玉県ヤングケアラーの現状と支援について」の資料に基づき説明を行う。 質問等はあるか。 資料の 5 0 ページに記載されているヤングケアラーLINE相談窓口について令和 4 年 9 月に開始予定と記載があるが、既に始まっているのか。 既に始まっている。 実績として 9 月は 3 人、1 0 月は 6 人のかたから相談があったと報告を受けている。 相談者がヤングケアラーLINE相談窓口の連絡先を知るにはどうすればよいのか。 埼玉県のホームページから検索するとLINE相談窓口につながる。 他に質疑等はあるか。 質疑がないようなので、これより、佐々木会長に議長として、議事の進行をお願いする。 暫時の間、議長の職を務めさせていただく。 議題(1)白岡市ヤングケアラー実態調査中間報告について、事務局から説明を求める。 資料 4 の「ヤングケアラー実態調査中間報告」の資料に基づき説明をする。 質問等はあるか。 埼玉県の資料 3 8 ページと 4 7 ページに記載されているようにヤングケアラーの支援については、早急に支援対策を講じることより

<p>子育て支援課長補佐</p>	<p>も、子どもの話を聞いてあげる側の感度を上げるための研修等が重要であることについて理解できた。</p> <p>白岡市として、今後の体制づくりや研修等をどのようにしていくのか伺いたい。</p> <p>市としては、今回のように児童福祉に関わる方に対して「ヤングケアラー研修」を行い、ヤングケアラーについて周知と理解を深めて頂きたいと考えている。既に8月に教職員を対象に「ヤングケアラー研修」を行い、今後は、民生・児童委員にも研修を行いたいと考えている。</p> <p>児童に関わる方にヤングケアラーについて理解をして頂くことで、ネットワークの体制構築に役立つのではと考えている。</p>
<p>議長 委員</p>	<p>質問等はあるか。</p> <p>埼玉県と白岡市のアンケート結果ともに、児童が相談する先に医療機関が入っていない。</p> <p>今後、地域支援の体制を検討する際に医療機関を含めたほうが、更に支援にもつながりやすいと思うので是非、医療機関も含めて頂きたい。</p>
<p>子育て支援課長補佐 委員</p>	<p>参考にさせて頂く。</p> <p>質問の中で「お世話（ケア）をしている人はいますか。」と聞いているが補足説明等はなく記述どおりか。</p> <p>児童の中には、お手伝いとお世話の区別がなく、又、自分がヤングケアラーと気が付かない児童もいる。</p> <p>関わっている児童の中で、本人から訴えはなくてもヤングケアラーかもしれないと思った場合に、この情報をどこに相談すればよいのか、又、相談しても支援につながらないことがないように関係機関との連携が大切だと思う。</p>
<p>子育て支援課長補佐</p>	<p>まずは、どこに相談をすればよいのか、関係機関に周知をしてもらいたい。</p> <p>この調査票は、国が実施した時の調査票と同様で質問については、記述どおりである。</p> <p>「お世話（ケア）をしている人はいますか。」の次の質問から誰をお世話（ケア）しているのか。更に、どのようなお世話（ケア）をしているのか等と聞いているため、調査全体の結果をみて実態に</p>

<p>子育て支援課長</p> <p>委員</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>副会長</p> <p>子育て支援課長</p>	<p>ついて考察することになる。</p> <p>ヤングケアラーについての相談先は、子育て支援課になる。</p> <p>事例ごとに状況が違うので相談があった場合は、精査をする必要がある。状況に応じて関係機関と連携して対応することになる。</p> <p>ヤングケアラーの相談先の周知について努めてもらいたい。</p> <p>質問等はあるか。</p> <p>(特になし)</p> <p>意見等はないようであるが、何か事務局から連絡事項はあるか。</p> <p>報酬及び債権者登録について説明した。</p> <p>以上で議題を終了する。委員の協力に感謝し、議長の職を降りる。</p> <p>副会長から最後に挨拶をいただきたい。</p> <p>挨拶</p> <p>以上で本日の会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--